



ひっぴだより

No.7. 2021. 9. 29

昼夜の長さがほぼ同じになり、その日を境に夜長へと向かう秋分の日が先日ありました。祖先を敬い、亡くなった人をしのぶ日として祝日となっています。そのことを意識したつもりはないのですが、最近よく父のことを思い出していました。

風の向くまま、気の向くまま、、、家に帰ってきてはいましたが、風来坊のような印象の父でした。その父に、末期のガンが見つかったとき、父は迷いなく治療を拒否しました。入院はしない、延命処置も必要ない、このまま家で最期まで過ごす、と。「娘さんから頼んで病院に連れてきて」看護師さんに電話で伝えられたわたしでしたが、父の意志は変わらないだろう、とすでに感じつつ、一緒に病院に行きました。結果は変わらずで、後日訪問看護をしてくれる先生を紹介していただきました。わたしの姉を含む家族で父の気持ちを受けとめたのですが、父とふたりで暮らしていた母は、より複雑な気持ちだったと思います。「辛そうなときどうしたらいいの」と母が聞くと、「辛そうだな、と思えばいい」と答える父の言葉を聞いて、父の覚悟を感じ、わたしも覚悟をしたような気がします。

父の病気がわかった少しあとに、母が坐骨神経痛で入院することになり…わたしが下の子ども(以下さく)を妊娠中で、上の子ども(以下うた)が2歳になる手前で里帰り中だったので、父にたくさん助けてもらったのを覚えています。

その後、年が明け、うたがぴっぴに入園してひと月経った5月、いよいよ病状が怪しくなってきた気配を感じ、ぴっぴを休んで実家に帰ることを決めました。そんなこと言って、一ヶ月も二ヶ月も、もっとまだまだ先のことかもしれない、とも思っていたのですが、うたと8ヶ月のさくと戻った実家で、父と過ごせたのは5日間だけでした。それでも、今思っても、その5日間はとても有り難い時間でした。

父はお酒が大好きで、ベッドで水を飲む“吸い飲み”にお酒を目配せでリクエストして飲んでいました。

思うように旅立てたかな、、、

わたしは、病気だとわかったとき、父が死に方を選択した気がしていたのですが、あとから、ああ、父は最後の生き方をあのとき選んだんだな、と感じました。

あれから12年、小さかったうたとさくは、あっという間にぴっぴを巣立ち、それぞれの生き方をしているよ、わたしもご縁をもらってこうしてぴっぴだよりに書かせてもらっているよ、きっと、これからもあっという間なんだろうな、だからこそ日々を丁寧に紡ぎたい、余裕のない日もあるだろうけど。。秋の空に思いを馳せるのでした。

：はるこ

木の実ちくさ おいしいお話し

10月

秋が深まり、森の木々もすいぶんと色づいてきました。そして、実りの秋、ひかひかと輝く赤い実は人も、そして鳥たちも夢中に下っていまし。赤や黒、紫、青などの美しい実は鳥の目にとまりやすく、食べてもらうために色づくのですが。

それと木たち人も美しいと思うのは不思議ですね。

ガマズミは赤に実をつけますが、黒～紫の実をつけるのにつけているのが山ブドウ。こちらは鳥、クマ、

ヤマネなど動物たちにも大人気。ほんとうによくともいいぬ美しい色になり、くるくるとして生きひげもかわいいつる性植物です。ぴょぴょのつる広場にも

あり、子どもたちがブランコしていくことがあります！

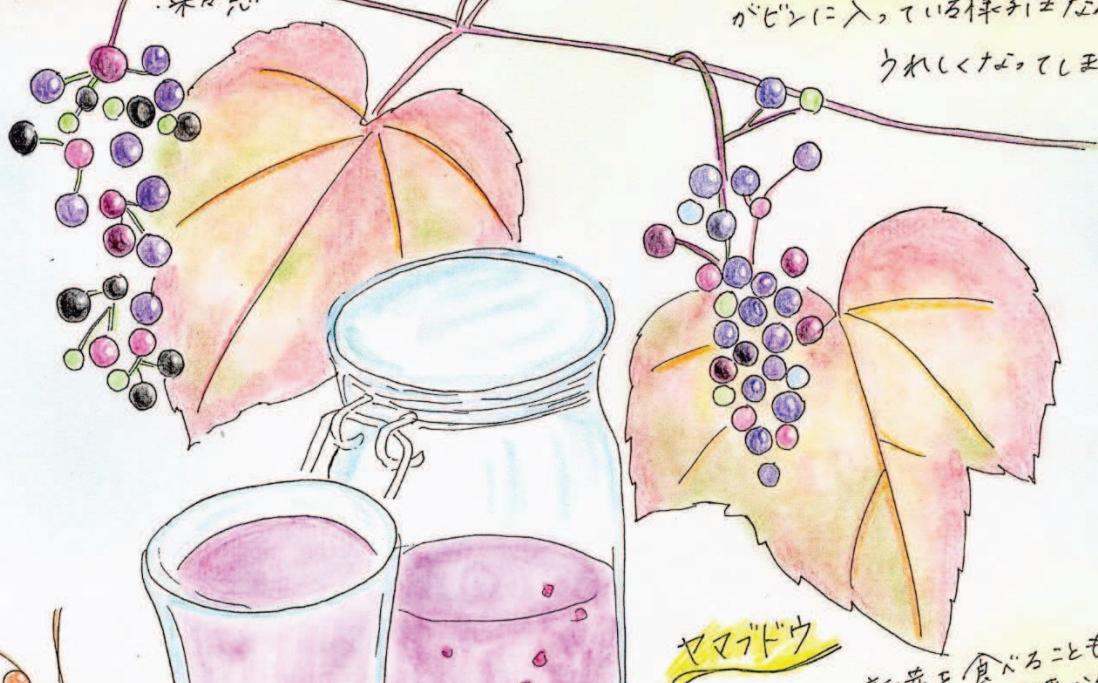
ヤマブドウのジュースは市販されたたりするほど

美味！この秋は木の実のジュースづくり。準備してみませんか？

（森々農）



ガマズミ
まろ赤に輝く美しい実
をつける。食べると酸味
があり、梅ジュースなどと同じ作り方でジュース
が作れます。できあがるまでも赤い木の実
がビンに入っている様子を見ていか
うれしくなってしまいます。



ヤマブドウ
春はやわらかい新芽を食べることもでき
る。冬はカゴなどの材料として古来から利用
されてきました。

果実はポリフェノールや鉄分が豊富で含まれるので
おいしくて元氣にこれまでかも！？
実りの秋をぜひ
楽しんでみて下さいね！



たんたん田んぼ

親子で稻刈り遠足のお知らせ

みんなで植えた田んぼの稲が金色に近づいてきました。

金色の穂が垂れている景色は秋の実りを感じます。

ひ、ひでは機械に頼らずにひとりひとり鎌を持ち丁寧に稲を刈り、藁で稲を縛り、はせかけをします。

おおきいくみの子ども達から生まれた案山子たちも田んぼでお待ちかねです。

親子みんなで稻刈りをしましょう。

とき 10月5日(火) 予備として8日(金)

*前日が雨で稲が濡れている場合も延期します。

集合 午前9時~9時15分(20分に朝の集まりを始めます)

解散 昼食後解散

ところ ひ、ひの田んぼ(発地 ほたるの里)

持ち物 お弁当、水筒、お手拭き、着替え、替えの革化、タオル、敷物、雨具、上着(風が吹く日は寒くなります)、草刈り鎌(貸し出し用が数本ありますが、できるだけご準備ください)

服装 長袖長ズボンの汚れてもいい衣服、中昌子、田んぼ革化または長靴、軍手

トイレ・水道 トイレは県道沿いにある公共トイレをご利用ください。できるだけ直前に済ませて集合してください。スタッフが水のタンクをいくつか用意しますので手洗いにご利用ください。

駐車スペース 田んぼ横の空き地に駐車できます。
入口が狭いのでご注意ください。近隣住民のご迷惑にならないよう住宅地の走行はできるだけ控えてください。

雨天予報やあやふやな天気の時は、前夜または当日朝7時ごろにメールで連絡します。

田んぼのことの質問は新井・渡辺にお気軽にお声掛けください。